

2016年6月18日(土)

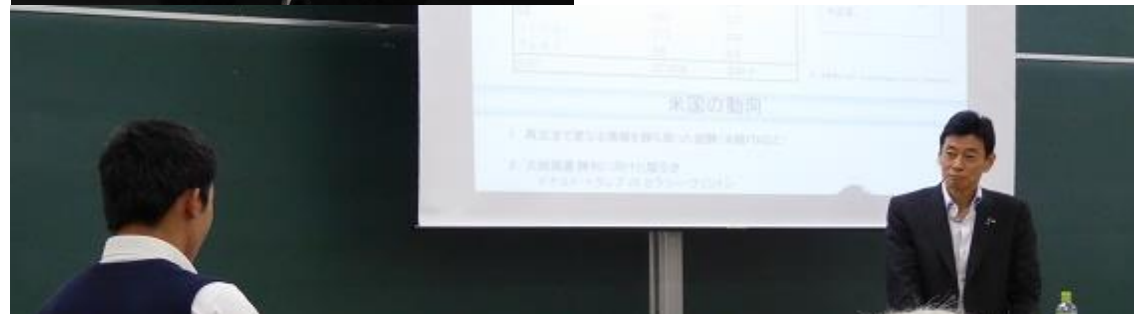
震災・復興とリスクマネジメント ( ) 国際都市神戸と世界の文化 ( ) 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ ( ) グローバルサイエンスと拠点都市神戸 ( ) その他 ( ○ )  
 平成28年度第2回連続リレー講座

[概要]

日時 平成28年6月18日(土) 10:40~16:40

場所 鶴甲第1キャンパス K棟 K202教室

第2回からは午前から始まる授業になりました。大学の教室で弁当を食べたり、大学生と議論したりする機会もあり、腰を落ち着けて「神戸大学で学び浸る」感じで1日を過ごしました。



1時間目 (10:40~12:10)

■現代の金融システム 吉村 隆先生

(ゴールドマン・サックス証券株式会社)

テーマ 大事なものは金融だけではないが、金融仲介機能が発揮されることは大事なので、金融は大事。生徒の感想から

○日本が置かれている状況が予想以上に大変だということに数値を通してわかった。

○バブルは多種類あって、今も進行中のものがあるとわかって驚いた。

○自国の状況をしっかりとらえ、それをふまえて、今後ニュースを見たいと思った。

○金融については高校生でもしっかり知っておくべきだと感じた。

2時間目 (13:00-14:30)

■日本の未来を切り拓く 西村 康稔先生

(衆議院内閣委員長 衆議院議員)

テーマ ~少子化・IT化・グローバル化と我が国の将来ビジョン~  
 参加者の感想から

○TPPに参加しない大国にTPPがどう影響するかという視点を教えてもらった。

○他者と違った視点から見たら、違う価値観を持つ人と話しをすることが意外な着想を得るきっかけになることに気付いた。

○女性の社会進出はいずれ産業界全体を盛り上げることになると感じた。

○日本には既存の職業だけでなく、多くの今までにない職業が必要になると思った。

○人は一期一会が得意。そこではロボットに負けないということに気付かされた。

3時間目 (15:10-16:40)

■これからの国土づくりのあり方

山田 邦博 (国土交通省 近畿地方整備局長)

- テーマ 1. 土木が暮らしを変え、まちを蘇らせる  
 2. 近畿地方整備局の概要と主要課題  
 3. 激甚化する水災害、切迫する巨大地震への対応  
 4. 戦略的なインフラ老朽化対策  
 5. 生産性向上を導く社会資本のストック効果  
 6. 地域・近畿・元気 ~輝く未へ

参加者の感想から

○私はダムに賛成でないので、ダムのリスクも話して

<p>○新興国でのバブルの流れや状況を知り、単に利益の追求だけではだめだとわかった。</p> <p>○日本の大学は資金運用を経営に取り入れないのか？海外では大学のファンドなどがあり、OBなどからの資金提供を生かして学校を発展させようとしている例もあるのに。</p>		<p>ほしかった。</p> <p>○「地域に元気を与える」というテーマを先生が非常に大切にされていることが伝わった。</p> <p>○目先に利便だけで開発しているのではなく、災害対策など将来を見通した柔軟な考えで活動されていることが感じられた。</p> <p>○TEC=FORCE の帰還報告会などを公開してはどうかと思った。</p>
--	--	---